

# 女性の活躍推進について

【提案先】 内閣府

## 1. 提案内容

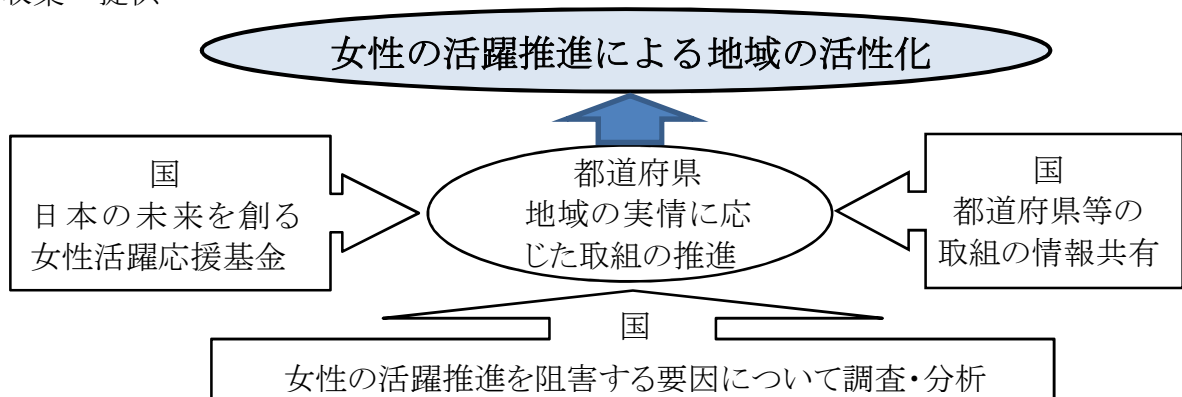
### 「日本の未来を創る女性活躍応援基金」の創設

- 女性の潜在的な力を活用することは成長戦略の原動力である。  
女性の一層の活躍に向け、地域の実情に応じた取組が加速するよう、「日本の未来を創る女性活躍応援基金」を創設

#### ◆基金による事業例

- ・ 女性の就労トータルサポート事業（滋賀マザーズジョブステーションの運営による就労支援および女性のチャレンジ支援事業による起業支援）
- ・ 意識啓発、実践講座等                      ・ キャリア教育支援
- ・ 中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組促進
- ・ 男性の育児・介護休業奨励金支給

- 地域の実情に応じた取組が効果的・効率的に推進されるよう、女性の活躍推進を阻害する要因について調査・分析するとともに、各都道府県等の取組について情報収集・提供



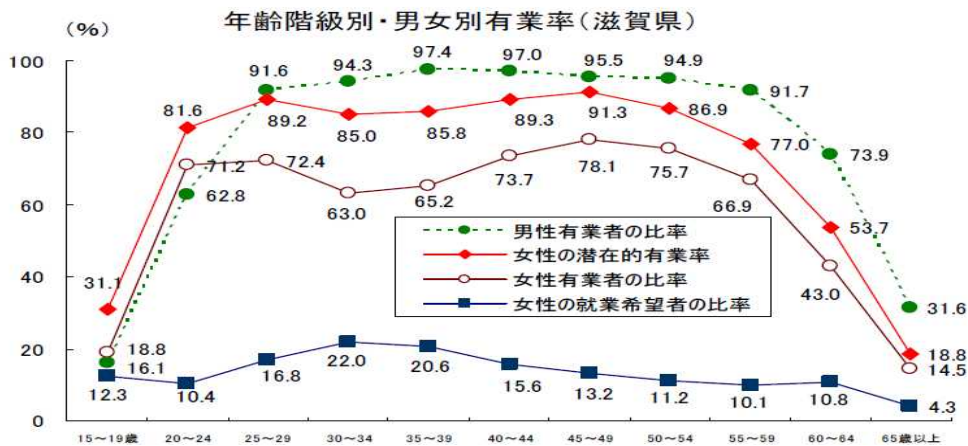
## 2. 提案の理由

- 少子高齢化の進展等、人口構造の変化が進む中、日本の労働力率は低下の見込み
- 女性は、「出産・子育て」と「仕事」との二者択一を迫られ、労働力率が30歳代を谷とする「M字カーブ」を描く
- 日本全体で女性の就業希望者は342万人、この力が発揮されれば約7兆円の新たな付加価値が創造
- 女性の活躍推進は、少子高齢化による労働力人口減少への対応にとどまらず、新たな雇用を創出するとともに地域経済を活性化する。

## (本県の取組状況と課題)

### ■背景

- 女性は、仕事と子育ての両立が困難な状況にあり、継続就労が困難な環境にあることから、労働力率が30歳代を谷とする、M字カーブを描く。
- 滋賀県の女性の労働力率のM字カーブの深さ順位は、全国39位。
- 一方、多くの女性が就業を希望しており、日本全体で女性の就業希望者は342万人（労働力調査）
- 滋賀県では3万5千人にのぼる。（就業構造基本調査 25～44歳）



(出典)平成24年 就業構造基本調査

### ■本県の取り組み

- 出産や子育て等による離職後、再就職を希望する女性や仕事と子育ての両立に悩む女性、社会へ一歩踏み出したい女性を支援するために、県と滋賀労働局がそれぞれの特性を活かし、滋賀マザーズジョブステーションを県内2ヶ所で運営。
- ・滋賀マザーズジョブステーションの設置運営

### ■課題

- 女性の活躍推進は、地域経済の活性化に必要不可欠であり、本県を含め、全国で地域の実情に応じた多様な女性活躍推進施策等が展開されることが必要。